

令和6年度 練馬区立学校の適正規模・適正配置検討委員会（第1回）	
開催日時	令和6年7月2日（火）9時30分～10時40分
開催場所	練馬区役所本庁舎19階 1905会議室
出席委員	12名
欠席委員	なし
次 第	1 開 会 2 委員委嘱 3 委員紹介 4 案 件 (1) 適正規模・適正配置検討委員会の設置と検討経過 (2) 第二次適正配置基本方針について (3) その他
■ 要点記録	
(1) 適正規模・適正配置検討委員会の設置と検討経過	
事務局	(資料説明)
佐川委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 昨年度は適正配置の方針を策定し、今年度はどのように適正配置を進めていくかを示した実施計画の策定を予定しているということである。</li> <li>○ 資料について質問等はあるか。</li> </ul>
委員	○ この委員会で、すべての学校について長寿命化か改築かの検討を行うのか。
事務局	○ 過小・過大規模の学校や改築に課題のある学校をそのまま存続させるのか、統合や学区変更等で課題を解消する必要があるのかを検討する会議体である。検討の結果、存続となれば、長寿命化や改築を区が検討のうえ行っていくことになる。
委員	○ 現在子どもが通う学校が改築中で、改築後は校舎の規模が小さくなると聞いている。近隣の学校ももうすぐ改築の時期を迎えると思うが、またお金をかけて改築を行うことになる。改築を行う前に今回のような統合等の議論があったのか知りたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 改築しているということは、検討の結果そのような判断になったということである。校舎を大きく改築し、近隣校と統合するという考え方もあるが、当該校は統合すると過大規模校となる可能性がある。このあとの資料で詳しく説明するが、昨年度に策定した基本方針では、学校の適正規模を12～18学級としている。</li> <li>○ 近隣の学校については、これから改築の時期を迎える76校に含まれるため、今回の議論の俎上にあげて検討を進めていく。</li> </ul>

委員	○ 配布資料の中に各学校の分布図や学校の規模がわかる資料はあるか。
事務局	○ 配付した基礎資料の中の資料 1 で学級数など学校の規模が確認できる。また、参考資料 1 で小中学校別の分布図が確認できる。分布図を見ると、区境に過小規模校が多い傾向である。
(2) 第二次適正配置基本方針について	
事務局	(資料説明)
佐川委員長	○ 「適正規模の視点」と「改築の視点」で抽出した学校をさらに複数の視点で検討して適正配置の対象校を選定するという考え方を基本方針で示している。この考え方に関して質問や意見はあるか。
委員	○ 特にない。
佐川委員長	○ 次回は基本方針の考え方にに基づき、より具体的な検討を進めていく。